

Rotary



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通 算 3 2 1 9 回
2024年10月18日
第 1 3 回 例 会

The Magic of Rotary

ロータリーのマジック

2024～2025年度 R I 会長
ステファニー A アーチック

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505



人吉ロータリークラブ
ホームページ



f フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2024～2025年度 人吉ロータリークラブテーマ

もっと、ロータリーを楽しもう

本日の例会

国歌斉唱・Rソング斉唱

会長の時間

幹事報告、出席率報告、会務報告

R財団奨学生修了報告

地域発展功労者表彰式

寄付カード

何らかの対策を打とうと思っています。

さて、今月は地域社会の経済発展月間です。当クラブの定款には、地域発展委員会は「地域の発展を目指し、諸活動を考え実行する委員会とする。又地域の発展に寄与している諸団体に対して表彰など授与し、発展をサポートするものとする。」と記されています。

令和2年の大水害で当クラブ会員も多くの方が被災されました。家、財産、大切な写真も失い大変な思いをされて現在復興に向け頑張っているらしいです。

本日の表彰者「あらいぐま人吉」は、水害で被災した写真の洗浄を通して被災された皆様に寄り添うボランティア団体です。当クラブ会員の中にもお世話になった方がいらっしゃいます。永尾会員の大変ありがたかったといつも無い笑顔で話すのを見て、被災した人たちに少なからず勇気と希望を与えられたのだな一と思ったところです。本日は上野様に活動報告をお願いしております。上野様よろしく願いいたします。

また本日は、ロータリー財団奨学生を終えられた李民樹さんに最終報告の卓話をお願いしております。

最後になりますが、当地区三村ガバナーより「能登半島豪雨災害被災地への対応について」文書が届いておりますので少しお読みします。本年1月1日に発生しました能登半島地震から復興半ば、9月には新たな豪雨災害に見舞われ、この惨状に対してガバナー会事務局を通して第2610地区大橋ガバナーより支援依頼状が届き、この依頼に対して2720地区は地区内会員の皆様から今年度、お1人様400円を徴収させていただいて「地区災害見舞積立金」より100万円をガバナー会を通じて2610地区へ送金致します。別途、各クラブからの送金をご希望の場合は11月20日までの期限として、100万円に加算し送金いたします。とのこと。

当クラブは能登半島地震で100万円を寄付したところですが、災害を経験した地区だからわかると思いますが、地震に水害と2重の被害を受けた2610地区に対し少しでも協力できればと、災害支援金BOXを各テーブルに回します。出費多端の折りではございますが皆様のご協力をお願いいたしまして会長の時間を終わります。

点 鐘

岩井和彦 会長

歌 唱

ソングリーダー 中島博之 委員

国 歌 「君が代」
R S 「それでこそロータリー」

司会・進行 プログラム 小笠原賢治委員

来訪者紹介

岩井和彦 会長

あらいぐま人吉 事務局長 上野 真由美 様

2023-2024年度

R財団グローバル補助金奨学生 李民樹 君

会長の時間

会長 岩井和彦

先週の早朝例会には通常例会よりも多いのではというくらい多くの参加をいただき感謝申し上げます。

例会の前日、公園を下見に行きましたが、ゴミはほとんど無くきれいに整備されているのを見て、人吉市民の意識の高さに驚かされました。会員皆様がそれぞれ草刈り道具や掃除道具持参で清掃して頂き、一層きれいになった公園を後にすがすがしい一日を過ごすことができました。ただ、30周年のモニュメントの会員名簿の文字が薄くなってきているところや40周年記念植樹の石碑が見えないなどの状態が見られましたので

幹事報告

幹事 伊久美早利

○ランタンフェスティバルの案内

- ・10月26日(土) 16時開場 18時開会式
- 場所: 人吉城跡ふるさと歴史の広場
- ・人吉RCが後援 実行委員会副会長に延岡ノミニエ(当日はカウントダウン)

○令和6年歳末たすけあい演芸会入場券の案内

- ・12月1日(日) 午前の部10時開演 午後の部14時開演
- ・午前、午後それぞれ5枚づつ入場券(1000円)を販売

○第2回クラブ米山委員会(熊本地区)セミナーの案内

- ・11月17日(日) 13:30~16:00 ホテル熊本ニュースカイ
- ・登録料 2000円
- ・熊本地区のカウンセラー報告会に合わせて実施

○今後の例会について

- ・10/25 通常例会 米山記念卓話
- ・11/1 通常例会誕生結婚祝、R友紹介、新会員卓話
- ・11/8 休会

出席率報告

委員 愛甲 碧

現 会 員 数	51名	出席免除会員数	0名
出席義務会員数	51名	本日の出席率 70.59%	
欠 席 者 数	15名		
出 席 者 数	36名		
免除会員出席数	0名		

【2023-2024グローバル補助金奨学生事業】

代表担当者 青木一幸

1年間、私と増田先生の方で留学のお世話させていただきました。李君にはもちろん勉強に頑張っていたいたわけですが、ロンドンのロータリークラブでも人吉の紹介、宣伝をしてもらいました。ありがとうございました。彼は今もうこちらに帰ってきて実家の介護施設をやっているわけですが、今月から医療センターで週3日、総合診療のお医者さんとして勤務をされているということです。大変忙しい日々を過ごされているということでもあります。

9月に全てのカリキュラムが終わり、論文の提出も済んでいます。最終的に結果がわかって卒業式は2月ということです。本日は修了報告ということで15分の短い時間ですがよろしくお願いします。

2023-2024年度R財団
グローバル補助金奨学生
李民樹



留学修了報告

ロンドン大学公衆衛生熱帯医大学院で
学ぶ感染症疫学

留学の概要

動機: 途上国における予防接種の効率的な分配に関する知識や研究能力の向上

留学期間: 2023年9月~2024年7月

滞在都市: イギリス ロンドン

大学院: ロンドン大学公衆衛生熱帯医学大学院

取得学位: Master of Science Control of Infectious Diseases

奨学金: 国際ロータリーグローバル補助金奨学生

ロンドン大学衛生熱帯医学大学院 London School of Hygiene & Tropical Medicine



- ・感染症の研究を目的に1899年設立
- ・研究収入: 350億円/年~
- ・3,500人へのスタッフ
- ・イギリス政府への政策提言
- ・世界中にネットワーク
- ・修士、博士など教育も
- ・公衆衛生の分野においてハーバード大学、ジョンズ・ホプキンス大学と並び世界最高峰



授業の内容



- ・1学期: 感染制御学、基礎統計学、疫学的应用、医療経済学基礎
- ・2学期: 疫学における統計学的手法、感染症疫学、感染症数理モデル、費用対効果研究
- ・3学期: 途上国の医療政策のための公衆衛生学、修士論文

疫学と統計学は密接に関わっている。

・疫学: ある集団における病気の発生や分布、そのプロセスを解明しようとする量的研究手法。病気と原因の因果関係の推測や影響を与える要因の解明に役に立つ。

・疫学で使用する統計学: 得られた結果をどのように解釈するか。得られた結果は本当に意味があるのか? 偶然ではないのか?

アウトブレイクにおける疫学調査の例

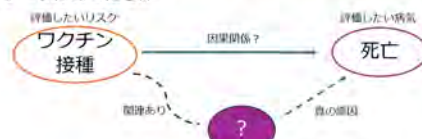


データをどのように解釈するか

もし、「白髪である人は癌の有病率が高い」というデータがあったら...



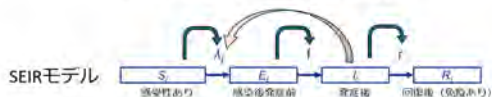
もし、「人吉市でコロナワクチンを接種した人が5名死亡した」というデータがあったら...



どのような交絡因子が存在し、どのような統計解析手法を用いれば正しく評価できるか? また、このデータは日本全体に適用できるか?

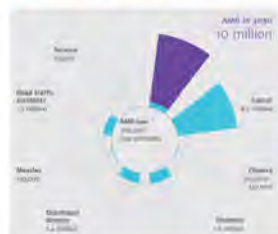
感染症数理モデルとは

疫学データを数式に代入し、繰り返し連続で計算することで、様々な予測を行う比較的新しい研究方法



測定が現実的でない困難な研究（例えば途上国の国全体のデータ）や未来の予測、複数シナリオの比較などに有用性がある。

世界に衝撃を与えた報告（オニールレポート）



紫色：2050年の推定データ
青色：2013年のデータ

「このまま世界が何も対策を取らなければ、2050年時点での薬剤耐性菌による世界の死亡者数は2013年時点の癌死亡者数を超える。」

費用対効果研究

- ・途上国では医療や保健に割ける国家的予算が不足している。
- ・標準予防接種計画にどのワクチンから導入するか？
- ・それとも水や衛生、教育に予算を割いた方がよいのか？
- ・それとも道路の舗装を急いだ方がよいのか？
- ・例「現在使用しているA療法。新しいB療法を導入すれば多くの患者が助かるが、コストも高い」
- ・この研究はゲイツ財団やGavi、WHOなどの国際機関が途上国へ公衆衛生関連の資金を投入する際に非常に活用されている。

修士論文

Epidemiological investigation for multiple carriage of *Streptococcus pneumoniae* among children in Nha Trang, Vietnam: cross-sectional studies

ベトナムのニャチャン市の小児における肺炎球菌の複数株保有に関する疫学調査：横断的研究

長崎大学とLSHTMのベトナムにおける共同研究のデータを用いて、小児の肺炎球菌保有に関する2次解析させていただきました。

なぜこれらのことを学んだのか？

- ・多くの重篤な感染症を予防できる予防接種は先進国では当たり前。
- ・しかし途上国では数多くの子供達がそのワクチンを接種できずに感染症で亡くなることが珍しくない。
- ・途上国には感染症の疫学データが少ないので、「研究費」などを用いてデータを収集することは大変重要。
- ・その疫学データを用いて感染症数理モデルで解析することで、国全体でどの程度の疾病負担があるのか、やワクチン導入時にどの程度の効果が期待できるのか、が推測できる。
- ・また費用対効果研究によりワクチン導入によるコストがわかるようになり、国政府の政策決定の役に立つ。

これから

- ・博士課程に進み、東南アジアのワクチン予防可能疾患の疫学調査、予防接種導入の効果推定、費用対効果に関する研究を行いたい。

Joint PhD Programme for Global Health
LSHTM and Nagasaki University (NU)



最後に

人吉及びロンドンロータリークラブの皆様から多くのサポートをいただきました。心からの感謝を申し上げます。



【地域発展委員会】

2024-2025年度地域発展功労者表彰式

被表彰団体「あらいぐま人吉」紹介

地域発展委員会委員長

渡辺洋文

人吉ロータリークラブの地域発展功労者表彰は2004年に始まっており、今回で19回目となります。今年度の被表彰団体となります「あらいぐま人吉」様を紹介させていただきます。

ご来訪いただいたのは、「あらいぐま人吉」様で事務局長をされていらっしゃる上野真由美様です。ようこそいらっしゃいました。後ほど活動状況の卓話をよろしくお願いいたします。

「あらいぐま人吉」様は、令和2年7月熊本豪雨で濡れてどろどろになってしまった写真を洗浄して、持ち主の方に返すという活動を、災害発生から1年後の令和3年7月から行っておられます。これまでに約200件11万枚の依頼があり、約7割の写真を洗浄して返却されました。また、人吉・球磨に限らず、全国各地のボランティア団体と連携して、能登半島地震をはじめ幅広い地域で活動を行っておられるとのことでした。

僕も昭和40年の水害で、当時10歳青井神社の真ん前に住んで天井近くまで浸水しました、写真もほとんど水没して小さい頃の写真がほとんど無くなりました。思い出はお金では買えないので、被災者にとってとてもうれしい活動だと思います。それでは、これまでの活動状況を紹介させていただきますので、上野様よろしくお願い致します。

受賞記念卓話

あらいぐま人吉事務局長

上野 真由美 様

豪雨災害から思い出を守る写真洗浄



あらいぐま人吉



写真洗浄とは

- ★ 豪雨災害で被災し、泥で汚れたり、カビが生えたりインクが溶け出した写真を洗ってお返しする
- ★ 大切な思い出の写真がきれいになって手元に返ることは、依頼者の方々の心の復興につながる。
- ★ 特別な技術や経験は不要。女性や学生も活躍



親子体験会
（相良南小学校）



南校高校生



80代の女性メンバーも
（温泉町）

いただいた依頼の状況 (R3.7月～R6.10月)

★依頼件数は196件、11万枚

人吉市 126件 (6万3千枚)

球磨村 25件 (1万2千枚)

芦北町 6件 (8百枚)

宮崎県 (都城市、延岡市) 13件 (6千枚)

益城町 3件 (2千4百枚)

久留米市 10件 (1万枚) など

泥水に浸かり、乾かしてある写真



濡れたままだと
周辺部からインクが溶けて
画像が消えていく
→乾かすことが大切

写真洗浄の工程



乾燥



切り出し



洗浄



返却



アルバム詰め



アルコール拭き

人吉市での活動

通常活動



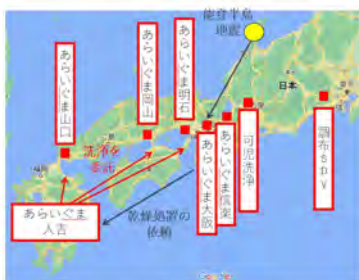
月に2～3回、日曜日に開催
温泉町みんなの家または相良町公民館にて
どなたでも参加可

中高生向けボランティア体験会



夏休みなどに開催
人吉市社協さんと連携

日本各地の写真洗浄団体と連携



各地の団体に写真を送り、洗浄して送り返してもらう
他の団体から送ってもらい人吉で協力する場合もある。

写真洗浄以外のイベントも開催

温泉町と益城町の交流会



温泉町町内会と共催

車えび釣りとBBQ



相良町子ども会と共催

活動のビジョン

1. 災害から大切な思い出を守り、被災された方たちの心の復興を
2. 依頼主の方など、被災された方たちが参加して地域貢献する場に
3. 被災地域内外、多世代 (10～80歳代) の老若男女が参加する交流の場になり、地域コミュニティの強化につなげる
4. 中高生のボランティア育成の場に
5. 写真洗浄を普及して今後の備えに (熊本豪雨では被災写真の7～8割が捨てられてしまった)
6. 他県団体とのネットワーク構築により、人吉で他地域の災害支援を

やってあげるだけの活動ではなく、被災地の方たちの活動として定着させ、
地域力強化、ボランティア育成、今後の災害への備えにもつなげたい

表彰状と記念品の贈呈



【寄付カード】

〈ニコニコ箱〉

- ・岩井会長 あらいぐま人吉の上野様、来訪ありがとうございます。大変すばらしい活動で当クラブの会員もお世話になりました。これからも頑張ってください。李様、ロータリー財団奨学生の経験を活かしてこれからも頑張ってください。お二人のご来訪を歓迎致します。
- ・増田会員 李君お帰りなさい。次のステップに向けてがんばってください。

〈R財団〉

- ・葉山会員 李君、卓話ありがとうございます。R財団に寄附頂くことでこのようなすばらしい事業が出来ます。皆さん寄附を宜しく願います。
- ・伊久美幹事 あらいぐま人吉上野様、卓話ありがとうございます。活動を通じて復興が進むことを願っております。

点 鐘 岩井和彦 会長